

キャンパスライフ

入学後の皆さんは、静岡市中心街の南東にある有度山のすそ野に広がる静岡キャンパスで4年間(大学院修士課程に進学するとさらに2年間)を過ごします。ここでは、理学部生のキャンパスライフの一端を紹介します。



住居

静岡キャンパスの周辺の大谷地区・小鹿地区には学生アパート街が広がっており、多くの学生はそこから通学しています。住居費は4~6万円程度が多いようです。また、学生寮としては、大学構内に片山寮(男子寮:定員288・室数72/女子寮:定員228・室数57)、徒歩20分ほどの位置に雄萌寮(男子寮:定員276・室数69)が設置されています(雄萌寮は2022年度から入寮募集停止)。片山寮の寮費は、月額2.2万円程度(朝・夕食付)です。

学生寮紹介



アルバイト

理学部生の8割以上がアルバイトを経験しており、それにより平均で月額2~5万円程度の収入を得ています。また、アルバイトには経済的な面だけでなく、社会活動の経験という大切な側面もあります。アルバイト探しはインターネットの紹介サイトを利用することが多いようですが、大学生協などでも紹介しています(注:大学生協は大学とは別組織です)。アルバイトによるトラブルも少数報告されていますが、学内に相談窓口を設け解決に向けた支援を行っています(学生支援を参照)。



サークル

静岡キャンパスには運動系・文科系合わせて80以上の公認サークルがあります。非公認のサークルもあわせると、その数は数百にもなるといわれています。サークル活動は理学部以外の学生や他大学の学生との交流の拠点となっており、学生時代を通して多くの人脈を形成するのに役立っています。

部活動紹介



図書館

理学部のすぐ隣には蔵書数90万冊以上を誇る大学図書館本館があり、多くの学生が自習や文献調査などに利用しています。また、PC設置のセミナー室やグループ討論のスペースもあり、インターネットを使った調査・学習などを行うことができるようになってきました。もちろん、海外の最新学術論文へのアクセスはインターネットを通して学内どこからでも可能です。

静岡大学
附属図書館



留学

静岡大学では現在約100の海外協定校・機関と交流を行っています。留学に関しては、夏休みや春休みを利用した海外研修や、ネブラスカ大学オマハ校での8~16週間の語学集中講座などが行われています。もちろん、長期間の交換留学への参加も可能です。理学部でも独自に海外との交流を行っており、特に香港科技大学とは、創造理学コースを中心に学部生・大学院生による活発な交流活動を行っています。

国際連携
推進機構



授業料免除

勉学意欲が高く成績が優秀にもかかわらず、経済的な問題を抱えた学生を支援するために、「高等教育の修学支援新制度」による授業料免除を行っています。支援対象に選ばれると家庭環境に応じて、前期・後期ごとに授業料の全額、3分の2、または3分の1が免除されます。申請手続きは一般的には高校在学中に行いますが、大学入学後にも申請する機会があります。学内の掲示に注意しておいてください。

授業料等の
免除



学生支援

大学生になると、高校生には得られなかった大きな自由が得られる代わりに、様々なトラブルに巻き込まれる可能性も高くなります。本学では、そのような学生をサポートするために「学生相談室」を設置しています。また、身体的・精神的な問題で修学上のトラブル抱えた学生のためには、「修学サポート室」や「保健センター」において専門家による特別なサポートも実施しています。

学生相談室



修学サポート室



保健センター



奨学金

本学からは日本学生支援機構奨学金の支援を申請することができます。支援は給付型(返還不要)・貸与型(要返還)に大別され、細かい分類に応じて毎月数万円から十数万円の支援を受けることができます。大まかな金額は次の通りです。

【給付型】家庭環境に応じて
月額9,800~66,700円

【貸与型第一種(無利子)】通学形態も加味した上で
月額2~5.1万円から選択

【貸与型第二種(有利子)】月額2~12万円から選択

また、このほかにも各種団体による奨学金の紹介も行っています。募集時期は4~5月に集中しているので情報に注意してください。

日本学生支援
機構奨学金



各種奨学金

